

# Medical Technology News

## LOOK

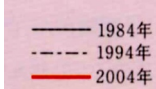
### 子宮頸がんの原因

#### ”ヒトパピローマウイルス (HPV)”

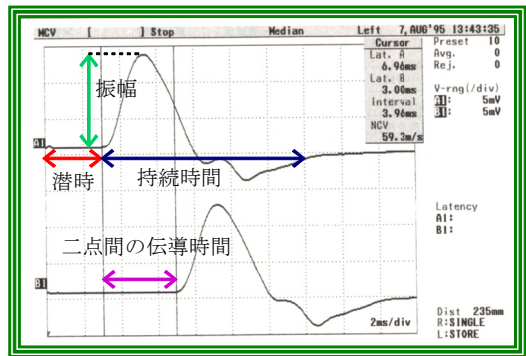
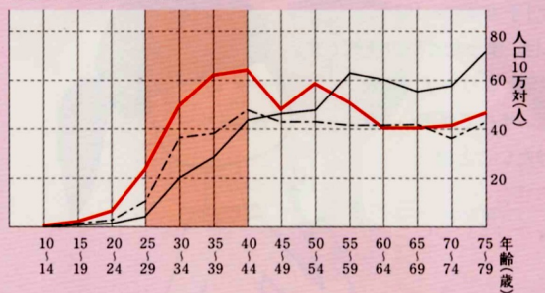
HPVは皮膚や粘膜にいるウイルスで、性体験のある女性の約8割が一生に一度は感染するといわれています。HPVに感染しても多くは一過性で、自然に消滅します。HPVには150以上のタイプがあり、このうち15種ほどが高リスク型と呼ばれており、この感染が長期間持続した時、子宮頸がんになる可能性が出てきます。

ワクチンは有効な予防手段ですが、子宮頸がんの原因全てには対応できません。やはり、**定期的ながん検診（細胞診・HPV検査）**が何より大切です。

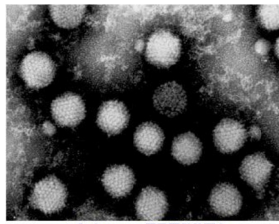
下のグラフが示すようにいま、若い女性に子宮頸がんが増えています。  
(国立がんセンターによるデータより)



子宮頸がん発生率の推移



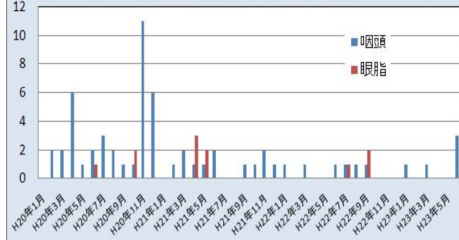
二点で刺激を行った場合、伝導時間と刺激二点間の長さから神経伝導速度を求める事が出来ます。  
**速さ=道のり÷時間** (昔ならった算数が役立ちますね～)  
手の神経 (正中神経) の運動神経伝導速度は・・・  
58±4 m/s (当院基準値) 1秒間に58m進む速さです。



アデノウイルスの電子顕微鏡写真

このウイルスは、乳幼児から学童にかけて易く、症状は6日前後の潜伏期間を経て、発熱で発症し、38℃以上の高熱が続くとともに、咽頭炎が現れます。また、結膜炎に伴って、目が充血し、目やにがでたり目の痛みなどの症状も出ます。他に

当院におけるアデノウイルス陽性者数の推移 (平成20年1月～23年6月まで)



院のデータでも(上図)、初冬にピークが見られる年がありましたが、近年にわたって陽性者を認めます。アデノウイルスは、患者の鼻汁・目やに・唾液、また便にも含ま

## 咽頭結膜熱とは？

### アデノウイルスが関与

咽頭結膜熱とは、アデノウイルス(左図参照)によるウイルス性の感染症で、発熱や咽頭炎(のどの痛み)・結膜炎が主な症状です。プールで感染することも多いので「プール熱」とも呼ばれています。

に、頭痛・全身倦怠感なども伴います。これらの症状は3日～1週間続きます。基本的には経過の良い疾患ですが、まれに肺炎など重症化する場合があり、注意が必要となります。流行時期は、通常、6～8月の夏季にみられますが、近年では冬季にもみられます。当

# 臨床検査室新聞

2011年 8月  
第26号  
発行元 八雲総合病院  
臨床検査室



れており感染力が強いので、拡散を断ち切ることが重要です。

感染予防対策は以下の通りです。

- (1) タオルの共用はしない(タオルに付着したウイルスが手指を介して目や口に入り感染するため)
- (2) 流行期には手洗いやうがいを行う
- (3) プールに入る前後にシャワーでよく体を洗う



## 神経伝導検査



「ごめんなさい・・・多分痛い検査になります。」  
手や足にしびれなどの症状がある場合、神経の状態を調べるために神経伝導検査を行う場合があります。この検査は手や足の神経に電気で刺激をあて、その時の筋肉や神

経自体の反応を機械で記録します。反応は波で表示されるのでその波の形(持続時間)や大きさ(振幅)、刺激を与えてから波が出るまでの時間(潜時)などの情報から神経の状態を調べていきます。また、刺激する部位を少しずつ移動しながら障害の部位を見つけたり、神経の伝

## ほと time

私ごとですが・・・

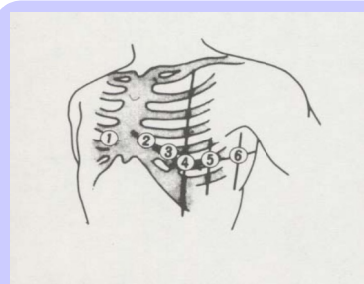
先日、弟が富士山に登頂したそうです。心臓疾患を持つ彼ですが、下山途中で2回嘔吐したと...高山病でしょう。でも、「良い経験をした」と話していました。何事も、苦しい辛いおもしろいを超えて、得るもの、達成感は格別なのだと思います。頑張れ!! ちなみに「富士山」は世界で474番目に高い山だそうです。



## 検査の基本

心電図検査で胸部の電極を付ける位置は？

- ①赤色 右胸骨側第4肋間
- ②黄色 左胸骨側第4肋間
- ③緑色 ②と④を結ぶ線の中点
- ④茶色 左第5肋間と鎖骨中央線の交点
- ⑤黒色 ④と同じ高さで前腋窩線との交点
- ⑥紫色 ④と同じ高さで、中腋窩線との交点につけます。



あきみちくんって覚えます

わる速さ(神経伝導速度)を計る事も出来ます。

ただこの検査は皮膚の上からチクチクと電気で神経を刺激する為に多少の痛みがあります。しびれなど症状がある部位に刺激を与えるため痛みを最小限にするように気をつけながら検査を行っています。しかし、痛みを伴う時間はわずかです。安心して検査をお受けください。

## 編集後記

トップ記事ではプール熱について触れましたが、そのプールでの苦い経験を一ツ小学生の時に初めてのプール授業。水が怖かった私は、みんなのように水に慣れることができませんでした。恐怖感だけが身についた結果、立派ななつちが出来上がりました。今は、かなつちの周りには脂肪という名の「浮き輪」が頑固に付き、お陰様で水が少し平気になりました。

